



Water Health Care

TRIM REPORT

第30期 事業報告書

〈2011年4月1日～2012年3月31日〉

株式会社日本トリム

証券コード：6788

森澤紳勝よりトップメッセージ

Top Message

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。当社は、2012年6月12日をもちまして、創業30周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様のご理解とご支援の賜物と衷心より感謝申し上げます。

当社では、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとして捉えております。安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に努めるとともに、配当政策といたしましては、安定的な配当を継続して行くことを基本としながら、業績に応じて水準を高めてまいります。また、昨今問題となっておりますコーポレートガバナンスにつきましても、強化・充実を図り、株主価値最大化に向け、より一層邁進してまいり所存でございます。

✕ トリムの未来像：高機能水による社会貢献

水の安全性が強く意識される今、水は量とともに「質」が求められる時代となりました。当社は、世界に先駆けて水に「機能」があることに着目し研究を重ねてまいりました。水の研究では世界のトップランナーであると自負しております。当社の水は、安全でおいしいだけの水とは一線を画した「高機能水」です。

今後、飲用にとどまらず人工透析をはじめとした医療分野や農業分野、工業分野での様々な応用を実現し、日本発の技術でグローバルに社会貢献する企業グループを目指してまいります。

✕ セカンドステージ：整水器は家電の時代へ

当社は、「ウォーターヘルスケアという新習慣」を提唱しております。その普及のためには、「整水器=家電」でなければならないと考えております。現在の日本の世帯総数は約5,200万世帯です。そのうち、当社の整水器の販売総数は、創業以来累計約105万台になります。当社が目指すのは「一世帯一台の整水器の普及」です。「水=日本トリム」と言っていただけるようなご支持やご信頼を得られるよう、機能性とデザイン性を兼ね備えた整水器の更なる開発を推進し、キッチンを変え、暮らしを変え、世界に貢献してまいります。

✕ トリムの姿勢：今期、積極的な先行投資

2013年3月期は、110億円の売上・20億円の経常利益を見込んでおります。3～5年後の事業拡大を目指し、PR・Web対策・研究開発・製品開発・海外展開・M&A等に対し、積極的な先行投資を行います。

✕ トリムのビジョン：10年後売上1,000億円

飲料分野

電解還元水飲用による生活習慣病対策に関する研究に取り組み、予防医療・医療費削減への貢献を目指します。営業面では、PR・Web対策に注力し、ブランド構築とともに新たな販売チャネルの創出を図ります。また、売上とサービスの向上を目的に、販売拠点の拡大と人員の増強を積極的に行ってまいります。

医療分野（電解水透析）

電解水透析は、患者の方々のQOL（生活の質）の改善に貢献する、社会的意義の大きい事業であるとともに、事業としての将来性や家庭用整水器事業への波及効果が非常に大きいため、今後も積極的に普及・啓蒙活動を推進していきます。

農業分野

生産効率の向上・栄養価の高い機能性作物の生産への寄与・植物工場棟での活用等による、食糧問題・食の安全性の問題への貢献を目指します。2013年3月期中に農業用整水器の販売を計画しております。

工業分野

金型部品・半導体などの洗浄への電解水の応用による事業拡大・環境問題改善を目指します。

グローバル事業

アジア地域での事業展開に注力しつつ、近年中の欧米への進出に向けても取り組んでまいります。

M&Aによる新規事業

売上・コスト両面でのシナジー効果を望める新規分野でのM&Aも視野に、事業の拡大を目指します。

✕ 機能水ビジネスを世界へ

機能水は日本発の技術であり、様々な分野において、グローバルな新規市場創出の可能性があります。機能水ビジネスのリーディングカンパニーとして、産学と官の連携による研究開発・事業化・海外進出を促進する体制構築に向け、精力的に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。